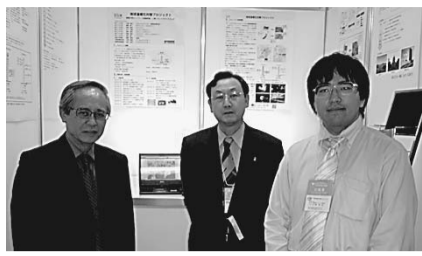


# あなたも一緒にLet's SGW!

## 地球温暖化対策プロジェクトの成果を出展

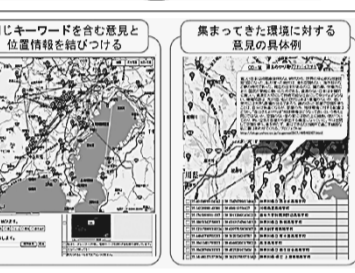
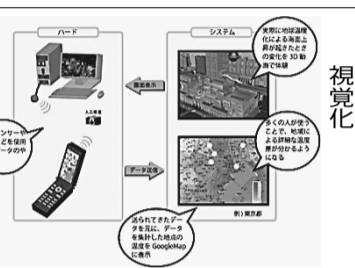
### 第21回先端技術見本市テクノトランスファー in かわさき2008



ネットワーク情報学部 綿貫理明プロジェクトの綿貫理明プロジェクト(報)。7月9日から11日、(株)セントラルシステムズ(大西寿郎代表取締役社長)と産学協同P)で開かれた「第21回温暖化対策プロジェクト」先端技術見本市「Stop Global Warming」の産学連携部門に出展した。

大西セントラルシステムズ社長(左)と(会場)卒業制作として、さらに研究を進めている小室匡史さんと柳澤剣さんは、いずれも4年次は、「WEB地図によるインタフェースを利用したCGMサイトは手軽にアクセスできるので、環境に対する

取り組みをぜひ記入してください。環境問題は、過激なものではなく、長く考えていかなければならない大切な課題。大学内でもっと環境に対する取り組みを高めるように活動していきたい」と話している。



▲ 泥だらけになって除草作業  
=寺家ふるさと村で

▲ 昨年の夏合宿でレクチャーを受けるゼミ生  
愛媛真岡村島で



は、生温かい田んぼにびっしり下までつかって。1カ月前の田植えから10ヶ月ほどに伸びた稲の周辺には雑草が目立つ。地下足袋姿のゼミ生たちは、稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。

稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。

## 田んぼ体験で「食」や環境問題を考える

### 離島や足尾銅山跡で合宿も 経済・泉 留維ゼミ

フィールドワークを基にした農法だ。「安全な食」とはなにか。それがいかに多くの人に支えられ、労力を要するものであるかを知りたい」と泉准教授。田植え、稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。稲刈りに加えて、通常の体験学習では行かない「稲刈り」の作業を行う木村広夫さん。

今年、秋に広島県呉市と隣接する岡村島の将来を、住民とのワークショップで探る予定だ。2年次の荒川希望さんは「足尾で鉱毒事件を知り、過去の事件に終わらせたい」と話す。ゼミ長の住吉貴明さん(3年次)も「ゼミ活動を通じて、新聞やテレビのニュースの見方が変わってきた」と環境問題を身近にとらえるようになった。

## 子どもたちのキャリア教育に向け



子どもたちに説明する窪田さん(左)と森田さん(右)が講師に

## 教員志望の3人

未来を担う小学生、中学生、高校生へのキャリア教育を行っている「NPO法人キープアソン」をもち、森田さんは「子どもたちに何を伝えたいのか、将来像を確認するため」、岡さんは「子どもたちの反応を確かめた。準備は大変だったが、企業の方とたくさん話す機会があった。子どもたちが目を輝かせて職業について考えている姿を見て、このプログラムの大切

## 東京おもちゃショーにブース出展

子どもたちとの触れ合いを経験したい」と参加動機を話す。

後期には、川崎市立平田でキャリア教育のプログラム実践を行う予定だが、6月21日、東京ビッグサイトで行われた「東京おもちゃショー」にブース出展し、子どもたちの反応を確かめた。

川崎市とキャリアデザインセンターが連携して、市内の中小企業・団体の課題解決に取り組む「課題解決型インターンシップ」。3年目の今年度は14のプログラムに学生が取り組み始めた。月号では、そのうちの2つを紹介する。

## 学生のチャレンジ始動



▲ 種まきを終えて



▲ 堆肥撒き

## 無農薬大豆栽培を体験

### 安全・安心を伝えるパッケージ製作

#### 神奈川在来種「津久井大豆」で

経営学部の新井純子ゼミ生8人、商学部の石川和也(川崎市麻生区)の依り、池本純子ゼミ生5人の計13人、頼による「大豆栽培からパッケージデザイン」の体験プログラムに取り組み始めた。今月号では、そのうちの2つを紹介する。



▲ 早く芽が出るように!



## ベンチャースピリッツとワーキングライフ

5月29日に行われたキャリア支援科目「特殊講義(ワーキングライフ1)」では、卒業生の尾関茂雄さん(平11法(株)Zee代表取締役社長)が講師となり、「ベンチャースピリッツとワーキングライフ」をテーマに現在、沖縄プロジェクトに人生の意義を見いだしていることを熱く語った=写真。